

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定、実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①学習指導要領の主旨を踏まえ、生徒の特性等に応じた教育課程を編成し、適切に実施する。</p> <p>②社会の変化やニーズに対応し、生き抜くための資質・能力を養うため、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを推進する。</p> <p>③「総合的な探究の時間」における探究活動の充実により、「自ら主体的に学び続ける力」の育成を図る。</p>	<p>①採点システムの普及・活用などを通じて業務の合理化を図り、学習指導・進路指導のための時間を確保する。</p> <p>②授業力向上研修のテーマに基づき、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを積極的に推進する。</p> <p>③主に2学年の探究活動のプログラムの改善点を明確にし、3学年の探究活動における深化推進を図る。</p>	<p>①県が導入した採点システムの特性や機能を踏まえ、普及と活用を適切に推進する。</p> <p>②引き続き研究授業を含む年5回の授業力向上研修会を実施する。外部機関等の指導助言も踏まえながら第4回の研修で研究授業を行い、年度末の研修で振り返りを行う。</p> <p>③新たに導入したスタディサプリの効果的な使用を学年ごとに模索、検証しながら生徒の課題探究力を育成する。</p>	<p>①採点システムの活用が進み、成績評価にあたっての集計作業などが合理化されたか。</p> <p>②生徒による授業評価の結果を授業力向上研修に活用し、生徒像を見据えた研修を行えたか。</p> <p>③生徒の探究活動が単に調べ学習に終わらず、成果発表会が終わっても継続的な探究力維持に繋がることができたか。</p>					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりが安心して学校生活を過ごせるよう、安全な教育環境を確保し、支援体制の充実を図る。</p> <p>②生徒会活動や学校行事を充実させ、生徒が主体的に活動できるよう支援し、社会性の育成に努める。</p> <p>③部活動を通して、日頃の学習習慣の確立を併せたタイムマネジメント能力の育成を図り、自主的な活動ができるよう支援する。</p>	<p>①基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成を図る。また、生徒の個別の課題への対応や支援体制の充実を図り、心身共に安全で健康な学校生活を送ることができるよう支援する。</p> <p>②生徒が生徒会行事・学校行事を通して、自己効力感を高められるように、さらに生徒会本部と各種委員会との連携を進めていく。</p> <p>③かながわ部活の日に合わせて、部活動のさらなる活性化のために、部活動総点検を実施し、部活動の環境整備を行う。</p>	<p>①生徒の日頃の状況から問題点や要配慮の情報を把握、共有し、状況に応じて適切かつ組織的な対応に繋げる。生徒指導のうち特別指導について全職員で共通認識を図り、効果的な運用をめざす。</p> <p>②昨年度の生徒会行事、学校行事の反省を生かして、さらに、校内、校外等様々な連携を密にしながら、生徒が自分で考え実現する力を育む。</p> <p>③部活動活性化のための新たな部活動補助費の算定方法を検証し、更なる部活動環境整備に取り組んでいく。</p>	<p>①特別指導や問題行動の件数が減少したか。また、出席状況や学校生活を送る上で問題がある生徒等に対し、必要な支援をすることにより、課題解決に至るケースが増えたか。</p> <p>②昨年度の反省を生徒が考え、実現した成果が行事等に反映できたか。</p> <p>③新しい部活動補助費の算定方法がさらなる部活動活性化につながったか。</p>					
3	進路指導・支援	<p>①3年間を見通した体系的なキャリア教育を実践する。希望する進路実現に向けた能力を育成する。</p> <p>②多様な進路希望に対応する進路支援体制を充実させる。</p>	<p>①3年間のキャリア教育を構築し、生徒が主体的・段階的にキャリアプランを構想し実現する力を育成する。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路希望を実現するため、生徒への着実な支援体制を構築する。</p>	<p>①新たな3年間の進路計画を実施する。各学年の目標設定を踏まえた指導を行う。模試を3学年統一させ、経年のデータ活用を充実させる。</p> <p>②新たな情報を確実に把握し、職員間での情報共有や理解を確実なものとする。</p>	<p>①各行事が学年の目標達成において効果がみられたか。また、模試の結果を有効活用できたか。</p> <p>②新たな情報共有が確実になされ、トラブルなく生徒の進路実現に活用されたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				し、生徒に対する効果的な情報提供に繋げる。 ②業務のマニュアル化を進め、複数対応が可能な体制を構築する	②複数の職員と協議して対応を確認したか。また、対応したことを文字化できたか。					
4	地域等との協働	①地域との連携・協働を進め、「地域から信頼される学校づくり」を推進する。 ②保護者・地域への情報提供に努め、家庭・地域の支援体制を充実させる。教育活動や成果を情報発信し、広報活動を進める。	①学校行事や地域行事等において、地域と連携した教育活動を実施する。 ②本校の教育活動について、学校ホームページや学校説明会等の場を有効活用し、常に最新情報を発信する。	①近隣小中学校や地域と行事等を通じて交流を図り、地域から信頼される学校づくりに努める。 ②大会結果や学校全体の行事だけでなく、各学年の様子も学校ホームページにより配信し、生徒の活動をより多く伝えていく。学校説明会や見学は、時期や内容など漸進的改革を念頭に進める。	①地域との連携・協働を推進し、有志生徒の参加が前年度より増加したか。 ②生徒の普段からの様子や本校の特色を、学校ホームページ等を通じて十分に伝えることができたか。					
5	学校管理 学校運営	①生徒たちが過ごす教室環境の整備に努め、安心・安全な学校生活を推進する。 ②ICT環境の点検整備を推進し、授業等に支障のないよう努める。 ③学校運営協議会により課題を明らかにし、地域や外部機関等との協働などにより、課題解決を進める。 ④職員のワークライフバランスを充実させるため、働き方改革を推進する。 ⑤生徒が安心して通い学ぶことができるように、コンプライアンスの徹底と不祥事防止に取り組む。	①毎日実施する清掃活動の用具を点検整備し、効率的な清掃活動が実施できるよう支援する。 ②ICT環境の問題点を洗い出し、整備できるように計画を立てる。 ③学校運営協議会において、1年間の目標と成果及び課題を明確にし、よりよい学校づくりを推進する。 ④働き方改革の推進により職員のワークライフバランスの充実と業務の適正化、効率化を推進する。 ⑤事故不祥事防止及びコンプライアンスの徹底を図り、安心・安全な教育環境づくりを推進する。	①学習環境の整備に努め、生徒が安全・安心な学校生活を推進するため、日頃からの用具管理や環境整備に留意する。 ②ICT環境整備を引き続き進め、校務及び授業の効率化を進める。 ③学校運営協議会の年3回開催の他、行事等への案内等、本校を知っていたく機会を設定し、各委員からの意見や助言を教育活動に反映させ、課題解決を進める。 ④会議の設定方法や資料の共有方法等を検証し、生徒と向き合う時間の確保やワークライフバランスの充実を図る。 ⑤事故不祥事防止会議の定期的な実施及び時機に合う課題の投げかけを行うことにより、日々の校務における事故防止が意識できるよう働きかける。	①学校行事等、定期的に教育環境の点検を行えたか。 ②定期的な履行確認の他、関係部署への働きかけ等を行えたか、また、ICT環境整備場の課題が改善されたか。 ③各委員の意見等を学校運営や授業改善等において着実に取り入れることができたか。 ④ストレスチェックの結果や職場アンケートにおける課題が改善されたか。 ④時間外在校時間45時間以上の職員数の減少が実現できたか。 ⑤個人情報、定期試験、入選等の場において、適切な事故防止の指示がなされているか、事故ゼロが達成できたか。					